

静勝寺報

第 43 号

令和 6 年

6 月 20 日発行

発行所 静勝寺

編集発行人

高崎忠道

お施餓鬼 お盆の季節がやってまいりました。皆様「清祥にてお過しのことと存じます。」

元旦に能登半島地震が発生し、多くの方々が犠牲となり、今なお復旧に程遠い状態の中、多くの方々が避難生活を余儀なくされています。犠牲になられた方のご冥福と一刻も早い復興をお祈りいたします。そして、いまだ続く、パレスチナ、ウクライナ戦争初め、世界各地で起こっている武力紛争の一刻も早い終結を祈るばかりです。特にパレスチナにおいて多くの子供たちが命を失いまた傷つき、あるいは孤児となる姿を見るに、戦争の悲惨さを痛感します。為政者たちの貪欲が戦争を長引かせ、多くの犠牲者を作り出しているといえます。

人間に限らず全ての生き物は欲を持ち、欲がないと生きられません。しかし人間だけが、必要以上の欲、貪欲（貪りの心）を持っています。その貪欲は足ることを知らず、飽くことなく湧いて出てきます。その貪欲に、自ら振り回され、結局自らを苦しめているのです。

お釈迦様は、人の苦悩の原因を探れば、それは『自然の摂理』に反する行いをしているからである」と気づかれました。苦悩から放れようとするなら、『自然の摂理』に添う生き方をすればよいのです。この『自然の摂理』は、つまり「大宇宙の真理」であり、これを『法』といいます。そして『自然の摂理』に添う生き方を『戒』といいます。

『戒』というと、「いましめ」とも読み「戒律」の『戒』であり、辞書をみれば、「宗教上の掟、出家者、信者の守るべきこと、修行の規則」とあり、あれをしてはいけない、これをしなければならぬ。何やらがんにがらめに縛られる印象を持つと思います。しかし、実はそうではないのです。永平寺の南澤禪師様は本年の年頭の挨拶で「戒とは人間の決め事ではなく、大自然の斯くあるという法則、調和と和合の有様を『戒』という」と述べられました。そして

「その調和と和合を壊すのは何時も人間であり、それを破戒という。」さらにその破戒をもたらすものは、自らが翻弄されている自らの「貪欲」「むさぼりの心」である」と続きます。（「禅の友」本年1月号）

確かに、自らの健康を脅かしているのは、飲み過ぎ、食べ過ぎ、夜更かし、睡眠不足、不規則な生活、健康への過信、思い通りにいかないイライラ、ストレス、自らの心身の調和と和合を乱していることが原因となっています。

人と人との調和を壊せば、争いやけんか、いじめにつながり、集団同士の調和を乱せば、紛争、戦争となります。

自然の調和を乱せば昨今の温暖化現象、異常気象による自然災害となり、世界各地に被害をもたらしています。我々人類は、自らの貪りの心によって自らの首をじわじわ絞めているのです。



気球よりみたアンコール・ワット自然に調和しています

貪りの心によって調和を乱し、自然の摂理から離れていることに気づき、反省し、『戒』『自然の摂理』に添った生き方に心がけようと、自らの

意思で決断（発心）し、実行することが肝要です。ネタニヤフさんや、プーチンさんに云つても聞く耳を持たないでしょうから、まず我々一人一人が、できることから実行していきましょう。例えば、姿勢をよくする、歯磨き、洗顔、身体を清潔にする。飲み過ぎない、腹八分、30分でも早寝早起き、整理整頓、ニコニコ過ごす、感謝を忘れない、できることから始めましょう。もしすでにしている、あるいは出来るようになったら、少しずつ増やしていきます。それが習慣になった時、本当の『戒』となります。『戒』とは「良い習慣」という意味があります。

そして誰でもできるのが呼吸です。姿勢を正し、良い呼吸、深くゆったりとした呼吸に心がけると、心がととのい、貪りの心から少しでも離れることができます。そうこれは、坐禅です。足を組まなくても、姿勢を整え、呼吸を整えれば、自ずと心がととのい、「自然の摂理」、「調和と和合」に添う生活、『戒』に生かされた生活になります。それが幸せにつながる道、よりよく生きる道、仏道を歩むことになります。

先日、ご近所のお檀家さんがお亡くなりになりました。百三歳でした。お棺のお顔を拝見してびっくりしました。しわのないつややかでとても百歳を越えているお顔ではなく、六、七十代といったもいいようでした。ご家族にお話を伺うと、毎日お肌の手入れは欠かさず、最後までお化粧もなされ、頭脳明晰で日常に感謝しながらニコニコとお過ごしになっていたとのことでした。まさに、「自分を律して戒「良い習慣」の実行が長寿と幸せな一生をもたらせた」と思います。

しかし我々凡夫は、お釈迦様のようにはいかず、どうしても戒を破ってしまいます。そのときは反省し、また発心する、戒に心がけるよう決断し実行すればよいのです。

調和、和合は何かといえば、それは皆が平等であるということです。人だけでなく生きとし生けるものすべて、更に道元禪師は「無心のもの」つまり石ころも瓦礫もこの地球上のすべてが平等であると述べられました。すべてが仏の姿である。であるから平等であり、「尊厳」ある存在なのです。その尊厳を冒してはなりません。相手の尊厳を冒すと、さげすみ差別、命の軽視、いじめ、争い、さらに戦争が起きます。食べ物に目を向ければ、食品ロス、自然に目を向ければ自然破壊に異常気象となります。お施餓鬼の法要の中で「オンボウシツタバダハダヤミ、オンサンマヤサトバン」とお唱えします。「菩提心（仏の心）」をおこそう、全ての存在は平等である」という意味です。このことを噛みしめながら、呼吸と自然に添う生活に心がけましょう。



タ・フローム カンボジア



水面に映るアンコール・ワット カンボジア



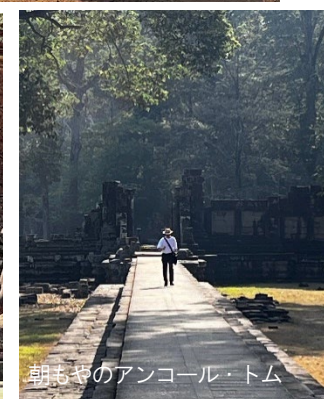
アンコール・トム カンボジア



グエン朝王宮 ベトナム フェ



バンテアイ・スレイ カンボジア



朝もやのアンコール・トム

今後の予定
○施餓鬼会
 7月9日(火) 午後2時法話 永伝寺 川上宗勇老師
 3時法要 塔婆ならびにご供養のお申し込みは、同封
 のハガキにて6月中にお願いいたします。(土日の集
 配はありませんのでご注意ください) また、**施餓鬼会**
のお布施、護持会費は同封の郵便振替にてお願いいた
します。
当日受付はございませんのでご了承お願い致します。



瓦礫片付け



炊き出し 七尾市内

能登半島地震



左より Vn 山邊有子氏、P 高崎美保、S 高安美雨氏

チャリティーコンサート



壊れた家々 七尾市内



138名の方においでいただき本堂はいっぱいでした



大本山總持寺大遠忌 雅楽奉納演

○棚経(お盆のお経) 7月、8月
ご希望の方は、6月中にご連絡下さい。
○道灌忌(太田道灌公の命日)
 7月26日(金) 午前十一時 法要 道灌
 堂
○道灌祭り 7月27日(土) 午後3時よ
 り 静勝寺駐車場 夜店(予定)
○秋季彼岸会法要
9月22日(日、秋分の日)
 午前十一時 法話、法要(予定)
○坐禅会 毎月第一土曜 午後2時半
 4時半
 定員45名(予約制) 8月は17日
○写経会 毎月第二土曜 午後2時半~4時
 定員30名(予約制)
○うたの会 毎月第四土曜午後2時半~
 定員25名(予約制)
 ただし、11月は30日、12月は21日です。
○日曜坐禅会、朝の会
 坐禅会、毎週日曜朝6時
 朝の会(読経と話) 6時50分~
 7時30分
 定員45名(予約制)
○ピアノ教室 体験レッスンあり
 ます。
ご予約、お問い合わせは
03・3900・4455まで。
日程を変更する場合もあります
ので電話、ホームページでご確認
ください。
○墓地、永代供養墓募集
 永代供養墓、墓地に空きがござ
 います。ご相談ください。



Instagram@jozanchudo⇒

←ホームページ

<http://joshoji1486.sakura.ne.jp/>



編集後記 チャリティーコンサートは138名ご参加いただき、寄付を合わ
 せ143,000円集まりました。さらに寺からの寄付を合わせて20万円を赤十字
 社と、共同募金会に10万円ずつ寄付しました。ありがとうございました。